

# NEW HORIZON

English Course

1・2・3



追加情報は「英語の広場」で  
随時更新していきます。



## GIGA スクール構想での 学習者用デジタル教科書 使い方ハンドブック

中学校

外国語



## はじめに

---

新学習指導要領にもとづく大幅改訂の教育課程も、令和4年度4月から2年目を迎えます。先生方におかれましては、昨年度一年目のご授業の実践を踏まえ、今年度の指導計画をたてていただいていることでしょう。GIGA スクール構想の実現を見据えた「紙」と「デジタル」の併用による一層の学習効果を、「学習者用デジタル教科書」を活用することで引き出してみたいというお声も、弊社にお寄せいただいております。

2020年9月に文部科学省が作成した「外国語の指導におけるICTの活用について」には、中学校に向けて、「1人1台端末」で「授業の言語活動をより効果的に行うために、新出言語材料の意味や用法などを授業以外での場面でも個別に繰り返し学んだりできる」ことがデジタル活用の有利点であると記されています。弊社発行の学習者用デジタル教科書は、その特長をぜひ活かしてほしいと願い、開発した学習ツールでした。

とはいえ、日本の学校英語教育の長い歴史のなかで学習ツールとして存在しなかった「学習者用デジタル教科書(教材)」です。紙の検定教科書に連動させて、いったいどのように有効活用すればよいのか、その機能や学校の授業とのつなげ方について、教科書発行者としてご紹介させていただく必要があると思います、この冊子をご用意いたしました。また、「個別最適」なコンテンツであるためには、習熟度に応じた選択肢をご用意することも大切であると考え、協業先と開発した商品についても、巻末にご紹介させていただきました。

学習者用デジタル教科書(教材)の「①機能・コンテンツ」、「②教材活用例(指導計画例)」、「③有料コンテンツ」をご紹介する3部構成からなるこの冊子は、GIGA スクール構想にご対応いただくための教授資料として、まずは令和4年度が始業するこの時期に、お届けさせていただくことになりました。さらに今後は、全国でご活用いただきながらお寄せいただくご意見を集めて、充実した授業提案のバリエーションをご紹介させていただきたいと考えております。弊社WEB ページやメールマガジンにて、続編として随時更新してまいりますので、ご活用参照いただけましたら幸いです。

英語教育の新たな時代の到来を受けて、ひとりでも多くの生徒が学習者用デジタル教科書(教材)を使って、自律的に、自分の「ことば」として、英語を自由に使える喜びを感じてほしいと願っています。その学び方を先生方とごいっしょに、この先長きにわたって、追求してまいりたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

令和4年4月5日  
東京書籍株式会社 中学校英語編集部

# 1

コピーして生徒に配付してご利用いただける

## 学習者用デジタル教科書 機能・コンテンツ紹介

(1) 基本機能について	4
(2) 本文コンテンツ	6
(3) 語句コンテンツ	8
(4) Key Sentence・Today's Point	10
(5) Preview アニメ	12
(6) 資料映像	13
付録 便利な機能の活用事例	14

# 2

## 学習者用デジタル教科書活用例（指導計画例）

(1) Book 1, 小中接続期(Unit 1-5), 各 Part での活用例	16
(2) Book 2-3, Read and Think(長文パート)での活用例	18
(3) ストーリー・スライド × 学習者用デジタル教科書 授業のご提案	20

# 3

さらに端末をご利用いただける

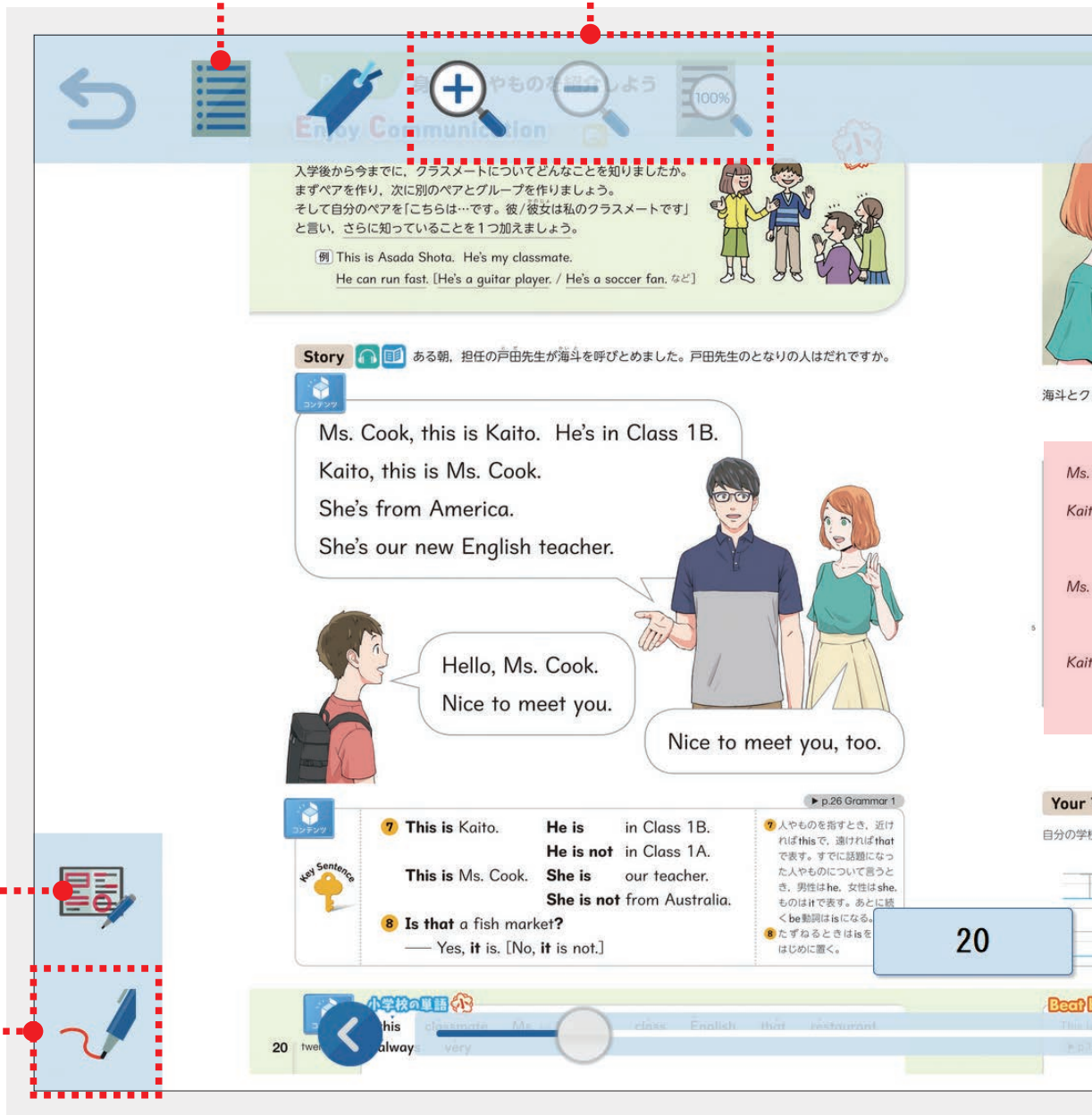
## 有料コンテンツのご案内

.....	28
-------	----

# 基本機能について

目次を表示

画面の拡大／縮小



かき込みの  
表示／非表示

20

かき込み

スタンプ

透明度

線・スタンプの色



かき込み  
終了

線の種類を  
選択

かき込みを  
消す

線の太さ

外部リンク作成

Web ページへのリンクを  
自由に貼ることができます。



ふりがな、分かち書き表示



●一言メモ  
回転ずし店には、多言語対応の注文用コンピュータが各席に設置されている店もあり、訪日外国人に人気があります。

↑表示あり

本棚に戻る

別の本を開く

画面上的コンテンツボタン (📺, 📺) をタッチすると、コンテンツ画面が表示されます。

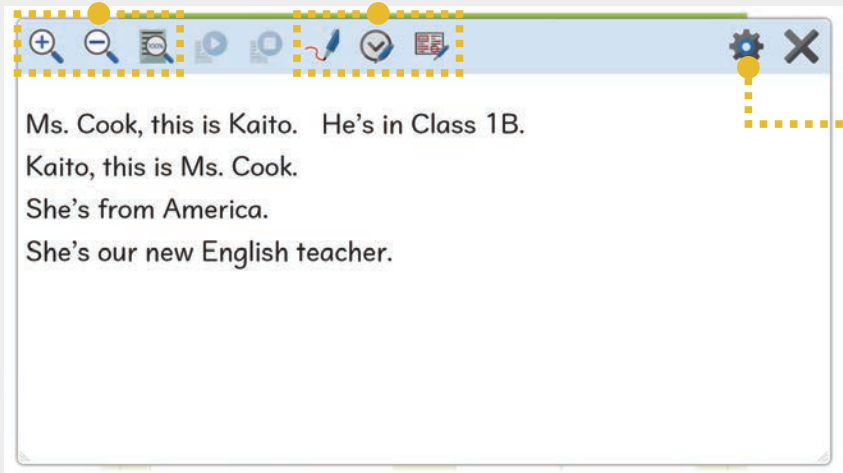
- コンテンツの種類
- ・本文
  - ・語句(New Words, 小学校の単語)
  - ・Key Sentence, Today's Point
  - ・Preview アニメ
  - ・資料映像(各 Unit の扉ページ)

各コンテンツの詳細は pp.6-13 へ

タッチすると  
拡大表示

拡大/縮小

かき込み ※一部保存非対応の画面があります



行間,  
文字色・背景色の変更など

## 本文コンテンツ

The screenshot shows a digital audio player interface. On the left is a control panel with various settings: ① Sentence/Slash (センテンス/スラッシュ), ② Continuous/Select (連続/選択), ③ Repeat (リピート), ④ Playback Interval (再生間隔), ⑤ Playback Speed (再生速度), ⑥ ABC (カラオケ), and ⑦ English Display (英語表示). The main area displays a dialogue between Asami and Kaito about Filipino food, with an image of a bowl of sinigang. A yellow callout box points to the text 'It's a mix of ice cream, fruit, shaved ice, and so on.' with the text '英文をタッチすると音声再生されます'. At the bottom, there are character selection icons (8) and a text color/reset button (9).

### ①センテンス/スラッシュ

センテンス：センテンス単位で音声を再生

スラッシュ：意味のまとまりごとに音声を再生

**👉 英文を語順のまま理解するトレーニングに**

### ②連続/選択

連続：タッチした文から通して音声を再生

選択：タッチした文のみ再生

### ③リピート

音声をくり返し再生します。

### ④再生間隔

音声のあとのポーズ秒数を設定します。

[リピートポーズ]は、再生した音声と同じ秒数のポーズがつきます。

**👉 1文ごとのリピート読みに最適**

### ⑤再生速度

音声の速度を3段階で設定します。

## ⑥カラオケ設定

赤：音声に合わせて赤色で表示

白：音声に合わせて文字を消す

OFF：青のハイライトのみ

📖 読まれている箇所がわかりやすい

📖 文字を捉えながらの音読練習に

## ⑦英語表示

●表示：英語テキストの表示／非表示を切り替えます。

●マスク：動詞／名詞／ランダムなど、マスクをつける条件を設定します。

📖 虫食い音読練習やディクテーションに最適

●マスク単位：マスクをつける単位(単語／文)を設定します。

## ⑧音調 ON/OFF

強勢を置く部分を表示／非表示にします。

📖 英語らしく音読する練習の手助けに

## ⑨役割再生(\* 対話形式の本文のみ対応)

選んだ人物の音声を OFF にして再生します。

📖 登場人物になりきって音読しよう

The screenshot shows a dialogue interface with the following text:

Asami: Does [mask] have [mask] questions?

Kaito: Yes. Does he like [mask] food?

Asami: Yes, he does. [mask] [mask] *sinigang*.  
It's a sour soup.

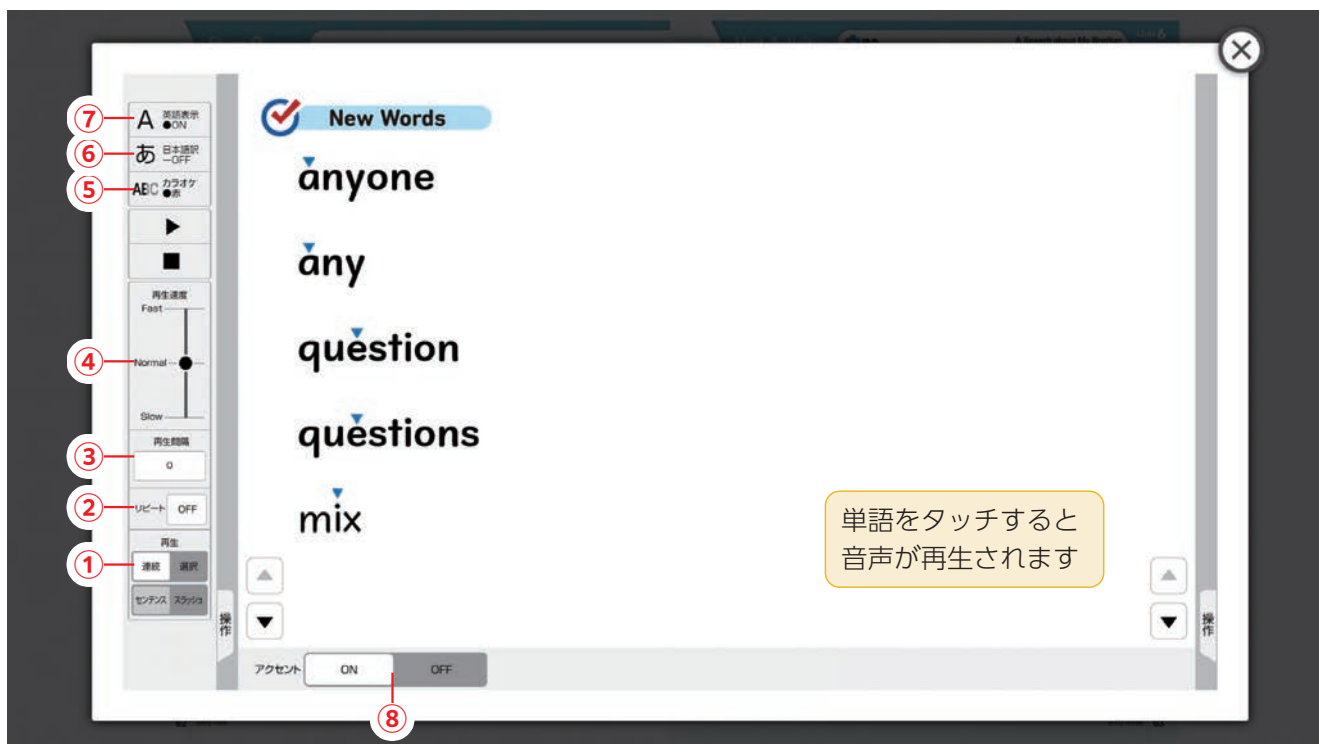
Kaito: Really? What does [mask] [mask] [mask] dessert?

Asami: [mask]. It's [mask] [mask] *parfait*.  
[mask] a mix of ice cream, fruit, [mask] beans,  
shaved ice, and so on.

Control panel on the left includes: English display (ON), Japanese display (OFF), AEC (OFF), playback speed (Fast, Normal, Slow), role selection (Asami, Kaito), and a 'マスク' (Mask) button.

Callout box: マスクはタッチすると外れます (Touching the mask removes it).

↑設定…[英語表示>マスク 25%]



## ①連続/選択

連続：タッチした単語から通しで音声を再生

選択：タッチした単語のみ再生

## ②リピート

音声をくり返し再生します。

## ③再生間隔

音声のあとのポーズ秒数を設定します。

[リピートポーズ]は、再生した音声と同じ秒数のポーズがつきます。

**👉 単語ごとのリピート読みに最適**

## ④再生速度

音声の速度を3段階で設定します。

## ⑤カラオケ設定

赤：音声に合わせて赤色で表示

白：音声に合わせて文字を消す

OFF：青のハイライトのみ

## ⑥日本語訳

- 表示(ON/OFF)：訳の表示/非表示を切り替えます。

- マスク(0%/100%)：訳のマスクあり/なしを切り替えます。



### ⑦英語表示

- 表示：英単語の表示／非表示を切り替えます。
- マスク：マスクをつける条件を設定します。[100%]を選択すると、すべての単語にマスクがつきます。

### ⑧アクセント

アクセント表示の ON/OFF を切り替えます。

**自分で発音してみてから、確かめに活用など**

表示  
OFF  
ON

マスク  
0%  
100%

日本語訳

New Words

anyone  
any  
question  
questions  
mix

【疑問文・否定文で】 だれか、だれも (...ない)

マスクはタッチすると外れます



自分で意味を考えてから、マスクを外して答え合わせをしよう！

↑設定…[日本語訳>表示：ON, マスク：100%]

A 英語表示 ●ON  
あ 日本語訳 ●ON  
ABC カラオケ ●OFF

再生速度  
Fast  
Normal  
Slow

再生時間  
0

リピート OFF

再生  
連続 実行  
センサス スクショ

操作

New Words

anyone  
any  
question  
questions  
mix

【疑問文・否定文で】 だれか、だれも (...ない)

【疑問文などで】 いくらかの、何らかの

質問

【questionの複数形】

混合

単語を考えてから、マスクを外して答え合わせをしよう！



単語を考えてから、マスクを外して答え合わせをしよう！

↑設定…[英語表示>マスク：100%] [日本語訳>表示：ON]

## Key Sentence · Today's Point

The screenshot shows a language learning app interface. On the left, there is a control panel with numbered callouts 1 through 7. 1 points to '連続' (Continuous) and '選択' (Select) buttons. 2 points to the 'リピート' (Repeat) button, which is currently set to 'OFF'. 3 points to the '再生間隔' (Playback Interval) slider, which is set to '0'. 4 points to the '再生速度' (Playback Speed) slider, which is set to 'Normal'. 5 points to the 'カラオケ' (Karaoke) button, which is currently 'OFF'. 6 points to the '日本語訳' (Japanese Translation) button, which is currently 'OFF'. 7 points to the '英語表示' (English Display) button, which is currently 'ON'. The main area displays the key sentence: 'Takuya likes Filipino food.' Below it, a question is asked: 'Does Takuya like Filipino food?' with two possible answers: '\_\_\_ Yes, he **does**.' and '[No, he **does not**.]'. A yellow callout box at the bottom right says '英文をタッチすると音声再生されます' (Touching the English text will play the audio). A 'Key Sentence 27' icon is visible in the top left of the main area.

### ①連続／選択

連続：タッチした文から通して音声を再生

選択：タッチした文のみ再生

### ②リピート

音声をくり返し再生します。

### ③再生間隔

音声のあとのポーズ秒数を設定します。

[リピートポーズ]は、再生した音声と同じ秒数のポーズがつきます。

**リピート読みに最適**

### ④再生速度

音声の速度を3段階で設定します。

### ⑤カラオケ設定

赤：音声に合わせて赤色で表示

白：音声に合わせて文字を消す

OFF：青のハイライトのみ

### ⑥日本語訳

●表示(ON/OFF)：訳の表示／非表示を切り替えます。

●マスク(0%/100%)：訳のマスクあり／なしを切り替えます。

**自分で意味を考えてから、答え合わせに活用など**

### ⑦英語表示

- 表示：英語テキストの表示／非表示を切り替えます。
- マスク：マスクをつける条件を設定します。
- マスク単位：マスクをつける単位(単語／文)を設定します。




日本語訳を見て、自分で英文を考えてから、答え合わせをしよう！

↑設定…[日本語訳>表示：ON] [英語表示>マスク：100%]



文法のポイントが確認できる！

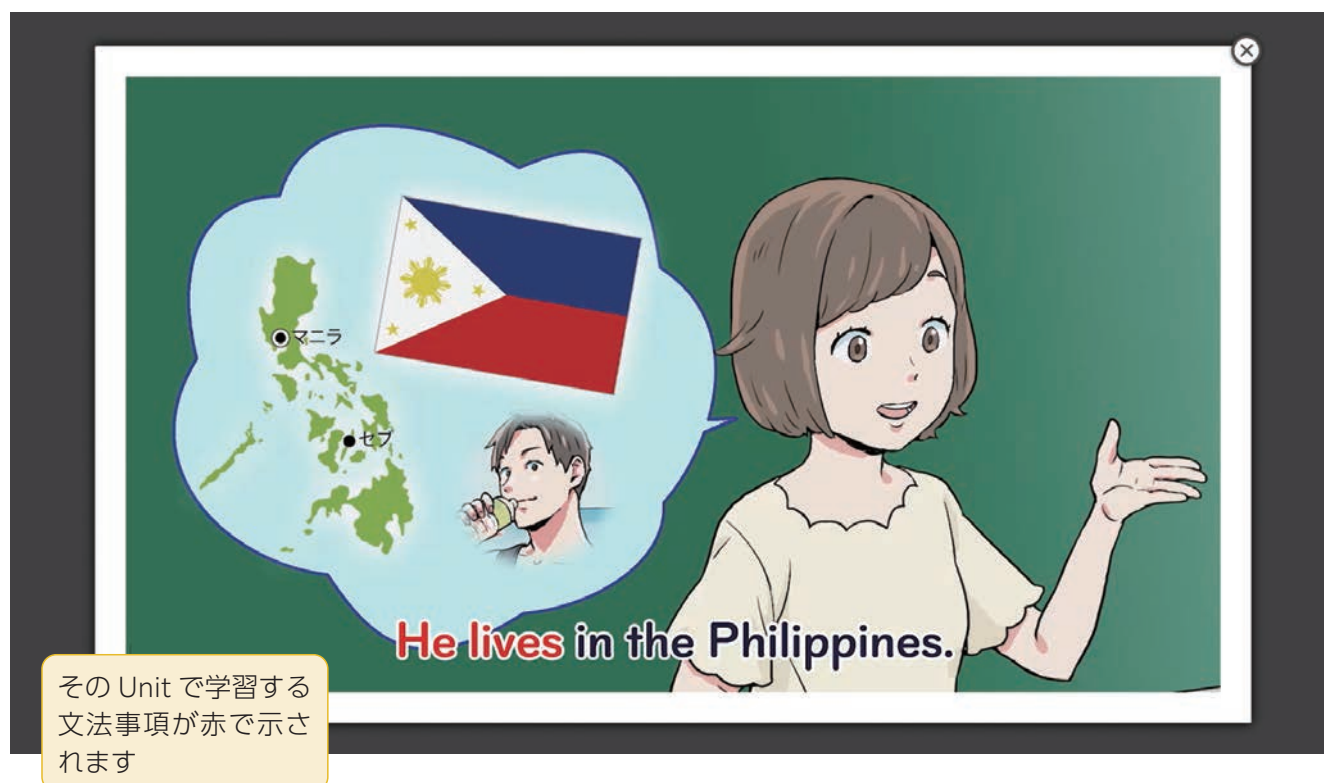
## Preview アニメ

Preview ページにある動画ボタン(  )をタッチします。


### ①メニュー画面



### ②アニメ再生画面(字幕あり)



## 資料映像

各 Unit の扉ページにある動画ボタン(  )をタッチすると、Unit のテーマに関連した映像が視聴できます。

### ①メニュー画面



### ②動画再生画面(字幕なし)





# 1 本文再生機能 × 音声認識機能

掛け合わせ

学習者用デジタル教科書のセンテンス単位の音声再生機能(p.6 参照)と音声入力アプリの文書作成機能を掛け合わせて使うと、本文を効率的に定着させることができます。

## ねらい

- 発音面の習得を促進する。
- 語彙や文法形式の定着を促進する。
- リスニング力の向上を促進する。
- 発音の正確さを自分で確認する。

## 準備物

学習者用デジタル教科書、  
イヤホンマイク、文書作成アプリ



兵庫県たつの市立龍野西中学校  
坂口万理 先生

毎時間、復習として、学習者用デジタル教科書の本文にマスクをかけて行うディクテーションか、ここで紹介している音声認識機能を使った音読活動を10分かけて行っています。本時に加えて、2回、本文を学習する機会を設けることができるので、本文の定着に大いに有効だと思います。

## 生徒の活動手順

- 1 学習者用デジタル教科書の再生機能を使い、本文を1文ずつ聞く。
- 2 聞き取った文を文書作成アプリに音声入力する。
- 3 うまく認識されない場合は、もう一度本文を聞いて挑戦する。

## 活動のポイント

- 正しい音声入力ができるまで、繰り返し音声入力させる。
- うまくできない生徒に対しては個別に対応し、発音の問題点を指摘する。

## メリット

- 音から文字への流れで指導できる。
- うまく認識されない場合は、音声をもう一度聞くので、個人個人で正しい発音をしっかり確認できる。
- 毎時10分間で行えるので、生徒は集中して取り組む。

## 生徒の反応

- ・正確な発音を身につけると、頭の中に文字も浮かんでくる。
- ・自分の発音が正しいかを自分で確認できる。
- ・正しく音声入力できるように、何回も挑戦したくなる。
- ・コロナ禍でも、正しい発音ができるようになるための練習ができる。

# 2 マーカー機能 (語句補充) ワークシート

掛け合わせ

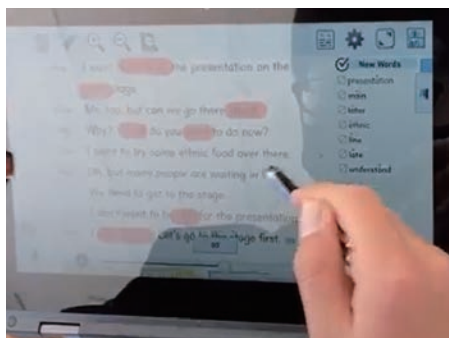
学習者用デジタル教科書のマーカー機能(p.4 参照)とワークシートを掛け合わせて使うと、生徒が主体的に語句の学習を進めることができます。

## ねらい

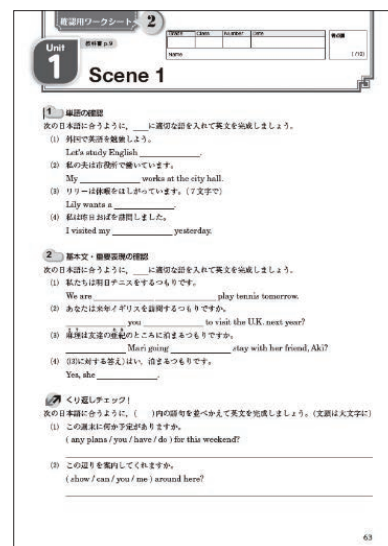
- 教科書本文の習得を促進する。
- 語彙や文法形式の定着を促進する。
- 本文の理解度を自分で確認する。
- 自己調整力を高める。

## 準備物

学習者用デジタル教科書、  
ワークシート



語句の確認に使えるワークシートのデータは、指導書付属DVD-ROMにあります。



## 生徒の活動手順

- 1 ワークシートに取り組む。(重要語句の補充など)
- 2 ワークシートの答え合わせをクラス全体で行う。
- 3 ワークシートでまちがった語句を確認したあと、デジタル教科書を開き、「まちがえた語句や重要な語句」にマーカーを引く。
- 4 自分で引いたマーカーをもとに、定着していない語句を自分なりに復習する。(音読でもよいし、フラッシュカード機能を使った復習でもよいし、ノートに書く方法でもよい)

## 活動のポイント

- マーカーをもとに、自分で学習方法を選択させる。
- 学習方法がわからない生徒に対しては個別に対応する。

## メリット

- 自律的な学習者になるための橋渡しになる。
- マーカーの色や種類は各自が決めてよいことにするので、オリジナルのノートがデジタル教科書内にできあがり、モチベーションにもつながる。

## 生徒の反応

- ・自分のわからないところだけを勉強できるので、時間をむだ使いしなくてよい。
- ・たくさんある単語の中で、自分がどこを覚えなといけなかがわかるので、勉強しやすい。

# (Book 1) 小中接続期の各Partでの活用例

1 / 2時間

**教師の使用教具** デジタルブック, PC, FC

**生徒の使用教材** 学習者用デジタル教科書

時間	生徒の活動と使用教材	指導者の活動と使用教具
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつする。</li> <li>本時の目標を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を使い、やり取りをする。</li> <li>本時の目標を提示する。</li> </ul>
Enjoy Communication 12分	<b>【語彙の導入】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りで使用する語彙を教師のあとについて発音練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りで使う語彙を導入する。教科書に掲載されている語彙以外にも、デジタルブックの「どうぐばこ」内の語彙も適宜導入する。</li> </ul>
	<b>【やり取り】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の例を音読する。</li> <li>教科書の例を参考に、クラスメートとやり取りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の例を音読するように指示する。</li> <li>クラスメートとやり取りを行うように指示する。机間巡視を行い、小学校で学習した表現の定着度を確認する。</li> </ul>
本文 25分	<b>【本文のリスニングと音読】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文の音声を聞く。</li> <li>本文についての教師の質問に答える。</li> <li><u>デジタル教科書の本文コンテンツを開き、音読する。</u> <u>さまざまな機能を使って、徐々に負荷をかけた音読に挑戦する。</u></li> </ul> <p>例 <u>1文ごとの音読⇒再生間隔を設定した音読⇒小学校の単語にマスクをかけた音読など</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FCで示された単語について、練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を聞かせる。デジタルブックを利用してもよいし、教師が登場人物になりきって音読してもよい。</li> <li>▲小学校の指導を受けて、音から指導することが大切です。</li> <li>本文の概要を聞き取れたか、質問をして確認する。適宜PCを用いて、場面をイメージさせながら進める。</li> <li>デジタル教科書を使った音読の指示を出す。</li> <li>▲各生徒の実態に応じて、1文ごとの音読、強勢を意識した読みやマスクをかけた虫食い音読などに取り組みせませす。</li> <li>FCを用いて単語の発音と意味の確認を行う。</li> </ul>
Key Sentence 8分	<b>【Key Sentence】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文法の解説を聞く。</li> <li>Key Sentenceの例文を音読する。</li> <li>Key Sentenceを用いた質問に答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、デジタルブックの文法解説動画を見せる。</li> <li>例文を音読するように指示する。</li> <li>Key Sentenceを用いた英文を言わせたり、質問を生徒に投げかけて応答させたりする。適宜生徒を指名し、発話させる。</li> <li>▲Key Sentenceを使わせてみるのが大切です。</li> </ul>





# (Book 1) 小中接続期の各Partでの活用例

2 / 2時間

教師の使用教具 デジタルブック, PC, FC

生徒の使用教材 学習者用デジタル教科書

時間	生徒の活動と使用教材	指導者の活動と使用教具
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつする。</li> <li>本時の目標を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を使い、やり取りをする。</li> <li>本時の目標を提示する。</li> </ul>
復習 (Beat by Beat! Sounds and Letters) 12分	<p><b>【Beat by Beat!】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Beat by Beat! に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時で指導した Key Sentence の復習も兼ねて、Beat by Beat! のチャンツを言わせる。リズムを意識するように促す。</li> </ul> 
	<p><b>【Sounds and Letters】【語彙】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の問題に取り組む。</li> <li>デジタル教科書の語彙コンテンツを開き、練習する。</li> </ul> <p>①「選択」再生にして、自分⇒音声⇒自分…または、再生間隔を数秒設定し、模範読みを聞いたあとに、自分で発音練習をする。</p> <p>②日本語訳表示にマスクをかけ、自分で発音して意味を思い浮かべたあとに、マスクを取って意味を確認。</p> 	
本文 15分	<p><b>【本文のリスニング】【音読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文の音声聞く。</li> <li>本文についての教師の質問に答える。</li> <li>教科書を開き、教師のあとについて音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を聞かせる。デジタルブックを利用してもしよい、教師が登場人物になりきって音読してもよい。</li> <li>本文の概要について、英問英答で確認する。</li> <li>教科書を開かせ、音読の指示を出す。</li> <li>▲時間があれば、本文のトピックについて、ペアで即興で対話させてもよいでしょう。</li> </ul>  
Your Turn 18分	<p><b>【ライティング】【やり取り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Your Turn の英文を書く。</li> <li>正しく書けたか確認する。</li> <li>書いた文を用いて、クラスメートとやり取りを行う。</li> <li>全体の前で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Your Turn の英文を書くように指示する。必要に応じて、文法のルールや語彙を支援する。</li> <li>正しく書けたか確認を行う。</li> <li>書いた文を用いて、やり取りを行うように指示する。教師が、やり取りの例を示す。</li> <li>いくつかのペアにデモンストレーションさせる。</li> <li>▲書いたこと(表現したこと)を発表させることはモチベーションアップにつながります。</li> </ul>

# (Book 2-3) Read and Thinkでの活用例

1 / 2時間

教師の使用教具 デジタルブック, PC, FC

生徒の使用教材 学習者用デジタル教科書

時間	生徒の活動と使用教材	指導者の活動と使用教具
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつする。</li> <li>本時の目標を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を使い、やり取りをする。</li> <li>本時の目標を提示する。</li> </ul>
展開 33分	<p><b>【オーラル・イントロダクション】【New Words】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を閉じて、オーラル・イントロダクションを聞く。</li> <li>オーラル・イントロダクションに含まれる新語を確認する。</li> <li>T-Fクイズに答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の概要をPC(ピクチャーカード)とFC(フラッシュカード)を使いながら説明する。(オーラル・イントロダクションの台本例は『指導編』参照)</li> <li>新語については概要を捉えるのに必要なものを中心に適宜指導する。</li> <li>本文の概要が聞き取れたか、T-Fクイズを出して確認する。(T-Fクイズの例は『指導編』参照)</li> </ul>
	<p><b>【Round 1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を開き、本文を読む。</li> <li>Round 1に解答する。</li> <li>デジタル教科書を用いて、本文の音読(p.6参照)を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を黙読し、Round 1に取り組むように指示する。</li> <li>答え合わせをする。</li> <li>デジタル教科書を使って、本文のモデル読みを聞くように指示する。その後、音読練習をするように指示する。</li> </ul> <p>▲各生徒の実態に応じて、1文ごとの音読、強勢を意識した読みやマスクをかけた虫食い音読などに取り組ませます。</p>
	<p><b>【Round 2】【Key Sentence】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を開き、本文を読む。</li> <li>Round 2に解答する。</li> <li>Round 2の解答解説およびKey Sentenceの説明を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を黙読し、Round 2に取り組むように指示する。</li> <li>答え合わせをする。(必要に応じてPCを用いるなどして理解を促す)</li> <li>答え合わせの中で、Key Sentenceに触れ、「形」や「意味」を説明する。必要に応じて、デジタルブック掲載の文法の解説動画を見せる。</li> </ul>
Practice 12分	<p><b>【Practice】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Practiceに取り組む。</li> <li>文法事項を使って、言って書く活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PCを提示し、場面を与えたうえで、練習問題に取り組むように指示する。</li> <li>適宜生徒を指名し、発話させる。</li> <li>ライティングした内容を発表させるなど、生徒の発話をシェアする。</li> <li>必要に応じて、家庭学習の指示を出す。(音読練習、新語の書き取り練習など)</li> </ul>



# (Book 2-3) Read and Thinkでの活用例

2 / 2時間

教師の使用教具 デジタルブック

生徒の使用教材 学習者用デジタル教科書

時間	生徒の活動と使用教材	指導者の活動と使用教具
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつする。</li> <li>本時の目標を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を使い、やり取りをする。</li> <li>本時の目標を提示する。</li> </ul>
復習 10分	<p><b>【前時の復習(本文・新語・音読)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を閉じて、本文に関する教師からの質問に答える。</li> <li>デジタル教科書を用いて、<u>新語の練習(p.8参照)</u>と<u>本文の音読(p.6参照)</u>を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に学習した本文について、概要を確認する英語の問いをいくつか投げかける。</li> <li>デジタル教科書を使った新語の練習と音読の指示を出す。</li> <li>▲各生徒の実態に応じて、1文ごとの音読、強勢を意識した読みやマスクをかけた虫食い音読などに取り組みさせます。</li> </ul>
展開 20分	<p><b>【Round 3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を開き、本文を読む。</li> <li>Round 3に取り組む。</li> <li>Round 3の発表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を黙読し、Round 3に取り組むように指示する。</li> <li>適宜支援を与えるなどして、発表ややり取りの準備を行わせる。</li> <li>ペアやグループになり、発表するように指示する。</li> <li>生徒の発表の中からさまざまな表現を取り出し、全体にシェアする。</li> <li>▲発表をシェアすることで、表現や思考の幅を広げることができます。</li> </ul>
まとめ 15分	<p><b>【Point of View】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Point of Viewについての考えをまとめる。(ノートに書くなど)</li> <li>自分の考えを発表する。</li> <li>クラスメートの考えを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Unit全体を振り返り、Point of Viewについての自分の考えをまとめるように指示する。</li> <li>考えを発表させるなど、生徒の発話をシェアする。</li> </ul> <p>* Read and Think 1 の場合は、【Point of View】に変えて、生徒に自分事化を促す問いかけを与える。</p>



# ストーリー・スライド × 学習者用デジタル教科書

掛け合わせ

## 授業のご提案



嘉山 透 先生

(神奈川県横須賀市公立中学校教諭)

Unit の長文パートを指導する際に、

「学習者用デジタル教科書」を有効活用する方法をご提案します！

NEW HORIZON の Book 3 の Unit 3, Animals on the Red List では、絶滅危惧種の動物について、**ニュースキャスターになりきって情報を伝える**活動をゴールに設定しています。学習者用デジタル教科書を使うと、目的意識を持った学習が可能になります。

1分でわかる!

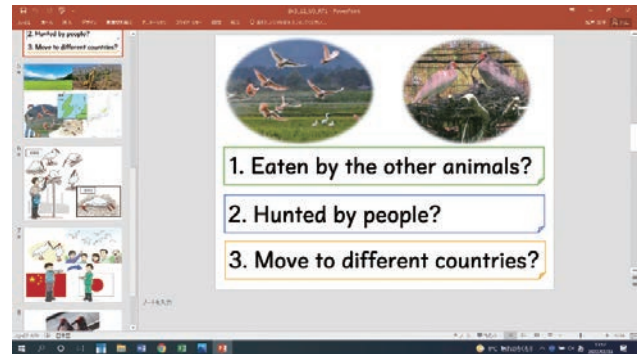
### ストーリー・スライドとは？

#### 本文の内容を紙芝居形式で表現したスライド

各 Unit と Let's Read の本文の内容を、イラストや写真を用いて紙芝居形式でまとめたスライドです。パワーポイント形式なので、適宜アレンジも可能です。視覚資料を用いて「生徒の背景知識を豊かにし、さらに「概要把握」や「リテリング」などに活用できます。

スライドのデータは、教師用指導書付属 **DVD-ROM 編の Disc 2** に、授業を進める際の台本例とともに収録されています。

活用方法のサンプル動画は、デジタルブックに収録しています。



さらに詳しい情報や活動動画などは、

#### 「NEW HORIZON ストーリー・スライド完全ガイド」

をご覧ください。

今後も積極的に更新し、全国の先生方の活用事例をご紹介します！



<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/spl/elgo/story-slide/>

### よくあるご質問

**Q** : データ形式は何ですか？Chromebook 採用校でも使用できますか？

**A** : Microsoft Office の PowerPoint です。Chrome OS をお使いの方は、Google スライドに変換してご利用いただくことも可能です。

**Q** : ピクチャーカードとの違いはなんですか？

**A** : ストーリー・スライドには、ピクチャーカードにはないイラストや、内容理解のヒントとなるキーワードなどが掲載されています。また、いくつかの図版にはあらかじめアニメーション(クリックすると画像が表示されるなど)も設定されています。

# ストーリー・スライド × 学習者用デジタル教科書 (Book 3 Unit 3 Read and Think 1)

生徒の使用教材：学習者用デジタル教科書 / 教師の使用教具：ストーリー・スライド、指導者用デジタルブック

## 1 時間目

時間	生徒の活動と使用教材	指導者の活動と使用教具
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつする。</li> <li>本時の目標を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を使い、やり取りをする。</li> <li>本時の目標を提示する。</li> </ul>
45分	<b>【オーラル・イントロダクション】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストーリー・スライドを使ってオーラル・イントロダクションを行う。</li> </ul>
	<b>【New Words】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語訳ありを見ながら、発音練習をする。(一斉)</li> <li>デジタル教科書を開き、個人個人で発音練習をする。(個人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初は、一斉に、その後、個別で New Words の発音練習や意味の確認を行うように指示する。</li> </ul>
	<b>【Round 1】 【Round 2】 【Round 3】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を開き、本文を読む。</li> <li>Round に解答する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を黙読し、Round に取り組むように指示する。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul>
	<b>【音読】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の指示のもと、語彙確認や音読練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一斉練習と個人練習を組み合わせながら、音読の練習の指示を出す。</li> </ul>
	<b>【Role play reading】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>なりきり音読の練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Read and look up の練習の指示を出す。</li> </ul>

★次回の授業内容とそのための家庭学習での課題を伝える。

## 2 時間目

時間	生徒の活動と使用教材	指導者の活動と使用教具
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつする。</li> <li>本時の目標を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を使い、やり取りをする。</li> <li>本時の目標を提示する。</li> </ul>
45分	<b>【個人での単語発音練習】</b> <b>【個人での本文音読練習】</b> <b>【個人での発表練習】</b> <b>【ペアでの発表】</b> <b>【全体での発表】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なりきり音読を行うことを改めて伝え、そのためにデジタル教科書を使って、練習を行うように指示する。</li> </ul>

次のページから、上記の指導の具体例を紹介します！

## 1. 教科書本文のオーラル・イントロダクション（ストーリー・スライドを使用）

スクリーンは黒板の右側に設置し、ストーリー・スライドを投影。左側はあけておき、新語などを書けるようにしておく。（基本、黒板に書いたものは消さない。）

crested ibis



T : Look. Meg and Kaito are writing an article.

They are writing about this bird.

What bird is this?

S1: トキ?

T : How do you say “トキ” in English?

It is called crested ibis.

Repeat. Crested ibis.

Ss : Crested ibis.

T : Okay. Have you ever seen a crested ibis in Japan? Please ask each other.

Ss : Have you ever seen a crested ibis?

- Yes / No.

T : Have you ever seen a crested ibis in Japan?

S2: No.

T : No, you haven't. You've never seen it.

How about you, S3?

S3: No, I haven't.

T : How about you, S4?

S4: Yes, I have.

T : Oh, you have seen it! Where did you see it?

S4: 新潟?

T : I see. You saw it in Niigata.

How about you, class? Have you ever seen it?

Please raise your hand.

Yes, I have. No, I haven't.

「トキ」に焦点化。

生徒に考えさせる。

crested ibis の導入。

crested ibis の練習。

トキを見たことがあるかお互いに質問する。

Have you ever -? の復習。

crested ibis の意味を理解しているか確認。

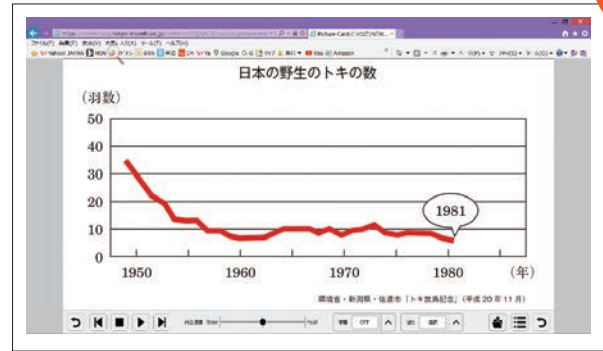
have での応答を recast し never の表現をパラフレーズする。

見たことがある生徒にさらに質問。

recast を行う。

話題を全体で共有し、挙手させることで、生徒の理解を把握する。（理解の確認）

crested ibis population decrease  
Meiji era - many



T : Up until the Meiji era, we could see many ibises around Japan.  
There were many ibises in Japan in the Meiji era.  
But now, we can't see it.  
Look. The population of ibises in Japan rapidly decreased.  
Why did the population of ibises in Japan rapidly decrease?

本文内容導入。

言い換え。

グラフを見せながら population / rapidly / decrease を導入する。(必要に応じて発音練習)

減少の理由を聞いて、次のスライドを見せる。

crested ibis population decrease  
Meiji era - many

1. Eaten by the other animals?
2. Hunted by people?
3. Move to different countries?

T : No.1, They were eaten by the other animals.  
No.2, They were hunted by people.  
No.3, They moved to different countries.  
What do you think? Please talk with your partner.

選択肢を示す。

意見交換をさせ、考える時間を与える。

T : What do you think, S6?

S6: No.1?

T : I see. They were eaten by other animals.  
How about you, S7?

S7: I think they were hunted by people.

T : Okay, class. Please raise your hand.  
No.1, No.2, No.3

全体が授業についてきているか確認する。

Ss : ( Students raise their hands. )

(理解の確認)



crested ibis population decrease  
 Meiji era - many  
 were hunted by people - beautiful feathers  
 development destroyed environment



T : The answer is No.2. They were hunted by people.

Because they had beautiful feathers.

Repeat. They were hunted by people

Ss : They were hunted by people

T : because they had beautiful feathers.

Ss : because they had beautiful feathers.

T : And development destroy their environment.

Look. There were beautiful nature,  
 but it was broken, destroyed.

Repeat. Beautiful nature

Ss : Beautiful nature

T : was destroyed.

Ss : was destroyed.

T : Ibises lost their place to live because  
 people destroyed their environment.

Repeat. Environment.

Ss : Environment.

本文をリピート練習。

環境破壊について。(スライド上部の写真)

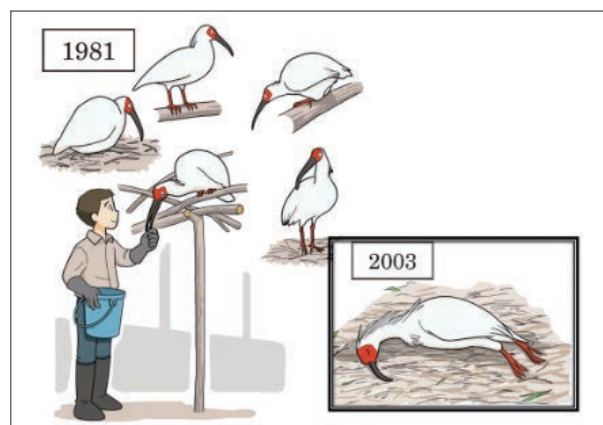
言い換えて理解を促す。

リピートで焦点化させる。

リピートで焦点化させる。

リピートで焦点化させる。

crested ibis population decrease  
 Meiji era - many  
 were hunted by people - beautiful feathers  
 development destroyed environment  
 were captured for breeding  
 died one by one the last one



T : In 1981, five ibises were found in Sado island.

And they were captured for breeding.

People caught the last five ibises and tried to

言い換えを行い、理解を促す。

increase the number of the ibises in Japan.  
But they died one by one.  
The last one died in 2003.  
Question. Were there ibises in Japan in 2004?  
Yes or No. Please raise your hands.  
Yes. There were ibises in Japan in 2004.

Ss: ( raise their hands )

T : No. There were no ibises in Japan in 2004.

Ss: ( raise their hands )

T : The answer is No. There were no ibises.

They were extinct. Class, repeat!

They died one by one.

Ss: They died one by one.

T : The last one died in 2003.

Ss: The last one died in 2003.

(ジェスチャーを交えながら)  
スクリーンのトキを1つ1つ指しながら。

理解の確認。

言い換え。(既習単語の extinct を使う。)  
教科書の表現の練習。

crested ibis population decrease  
Meiji era - many  
were hunted by people - beautiful feathers  
development destroyed environment  
were captured for breeding  
died one by one the last one  
Chinses-born ibises  
gift from the Chinese government



T : However, S4 has seen crested ibises in Niigata.  
What does it mean? They were extinct, right?  
Please think about it with your group.

Ss: ( talk in groups )

T : What do you think, S8?

S8: う〜ん…実はまだ生きてた？

T : I see! Some ibises survived! That's interesting!  
How about you, S4?

S4: They came from China?

T : You mean they flew from China over 日本海 .

S4: Yes.

T : Oh, that is a long flight. Okay, I'll show you  
the reason.

China gave Japan some Chinese-born ibises.

They were a gift from the Chinese government  
in the 1990s. Class, repeat!

授業の前半との矛盾に目を向けさせる。

アイデアを出すことが目的なので日本語で OK。

生徒の発言を英語で recast。  
感想も加える。

本人の発言の意味を確認し言い換える。

生徒が「なぜだろう」と知るレディネスを作りだす。

スライドを指示しながら。  
新語の練習。

Chinese-born ibises.

Ss : Chinese-born ibises.

T : China gave Japan some Chinese-born ibises.

Ss : China gave Japan some Chinese-born ibises.

T : They were a gift from the Chinese government.

Ss : They were a gift from the Chinese government.

フレーズ単位から文単位で練習。

crested ibis population decrease  
Meiji era - many  
were hunted by people - beautiful feathers  
development destroyed environment  
were captured for breeding  
died one by one the last one  
Chinses-born ibises  
gift from the Chinese government



T : Some people have been breeding these ibises.

Repeat. breeding.

Ss : breeding.

T : So, S4 saw ibises in Niigata.

S4 saw the ibises some people have been  
breeding on Sado island.

Okay, let's read the text about the crested ibises.

未習の文法だが、文脈で推測可能と判断。

## 2. New Words の確認と練習

(デジタルブックと学習者用デジタル教科書を使用)



デジタル教科書

- ① 「日本語訳あり」で教師の発音のあとに発音練習
- ② 「日本語訳あり」で学習者デジタル教科書を使って、生徒のみで発音練習

次の Round 1-3(読解)のための新語の確認なので「読んで意味がわかる」程度で十分。

## 3. Round 1-3(読解) (デジタルブックを使用)

教科書を開かせ、右側の Round 1(p.41)から始めていく。さっと Round 1 の問題に目を通させた後、教師が教科書本文を音読し読み聞かせる。(デジタルブックに本文音声再生機能があるが、生徒の学習段階によっては教師がスピードや区切れ、抑揚などをコントロールした音読の方が理解しやすい)まずは「個人」で考える時間を確保し、その後、ペアやグループで確認する時間を設ける。その際、ただ答え合わせをするのではなく「なぜ、そうなのか教えて」と根拠を話し合わせることを生徒に要求する。Round 2, Round 3 の①も同様に、まずは「個人」で考え、次に「ペアやグループ」で確認し合う手順で行う。

## 4. 音読

### (デジタルブックと学習者用デジタル教科書を使用)



デジタル教科書

次の「なりきり音読」の練習(output へ向けての intake)として「音読」を行う。教科書の本文内容が理解できていることが前提。

- ① **Pronunciation drill**(指導者用デジタルブックで **New Words** 発音練習。意味を理解した上で正しく発音できるように、もう一度確認する。)
- ② **Chorus reading**(教師のあとに続いて音読。語順や区切れ、発音の特徴(脱落やリンク)などを確認することが目的。)
- ③ **Buzz reading**(個人のペースで音読練習を行う。必要に応じて学習者用デジタル教科書を使い、発音や区切れを確認させる。)
- ④ **Pair reading**(ペアで読ませる。今回は「新聞記事」なので、ニュースキャスターのように読もう！と言うとイメージがつかみやすい。発表の後は生徒同士で相互評価。あらかじめ、教師の方で基準を示してあげるとよい。)
- ⑤ **Buzz reading**(ここでもう一度、個人練習を入れ、ペアに指摘された課題を克服する時間を設ける。支援が必要な生徒や困っている生徒はここで個別指をする。)
- ⑥ **Pair reading**(ペアを変えて、もう一度、音読。「1回目よりも上手にできた」と本人が感じられると、次の学習へのモチベーションになる。)

## 5. Role play reading (なりきり音読練習)

今回は本文が「新聞記事」なので「ニュースキャスターのつもりでトキについての情報を伝えよう」と目標を伝える。「ニュースキャスターのように読むにはどうしたらいいか」考えさせ、クラスで共有する。最終的に「今日のニュースを全て暗記する必要はないが、原稿から目を離すことができず、下ばかり向いているキャスターでは、チャンネルを視聴者に変えられてしまう」と伝え「あるべき姿」の共有を図る。そのため練習として read and look up を提案し実際に行う。

- ① 個人練習(「ニュースキャスターらしく」を目標に個人で練習をさせる。)
- ② **Read and look up**(本文から目を離す練習方法として提案し、実際に教師の指示のもと行う。)
- ③ 個人練習(もう一度、個人練習に取り組ませる。1回目よりも工夫する生徒が増える。)

## 6. 授業のまとめ・連絡 (宿題で学習者用デジタル教科書を使用)



デジタル教科書

今回の授業内容と、そのための家庭学習を伝えて授業を終える。今回は「ニュースキャスターのように伝えることを目標に、デジタル教科書を使い音読練習をする」ことが宿題になる。今回の授業内容とリンクしているので、宿題をしっかりとやってきた生徒は授業でより能力を伸ばせる(伸びたことを実感できる)ので、家庭学習に意味を見出し、目的意識を持って学習に取り組むようになると思われる。

2 時間目

なりきり音読を行う。



## AI自動採点 × 英語4技能学習

# ELST®

English Listening & Speaking Testing

中学検定教科書完全準拠/英検®対策/CEFR-J準拠

※英検®は、公益財団法人日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは、公益財団法人日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。※ELST®は株式会社サインウェーブの登録商標です。

### ELST®で教科書内容の習得もバッチリ！

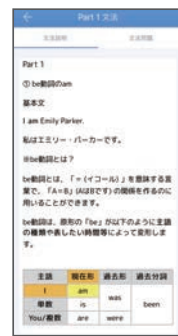
#### 教科書モード

教科書の単語・例文・本文などを搭載！  
教科書のCD音源も収録！  
教科書に沿って定期テスト対策が可能！



#### 学習モード

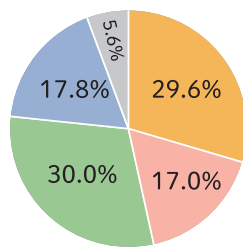
教科書内容をベースとした文法の解説・演習問題を多数搭載！  
教科書に沿った問題に取り組むことで定期テスト対策が可能！



### 英語を聞き取る能力/話す能力に変化が！

Q:ELST® を使い始める前と比べ、英語を聞き取る能力に変化はありましたか？

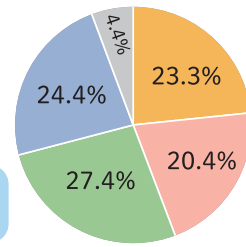
- 大きく変化した
- とても変化した
- 変化した
- 少しだけ変化した
- 変化なし



94.4%が『変化があった』と回答

Q:ELST® を使い始める前と比べ、英語を話す能力に変化はありましたか？

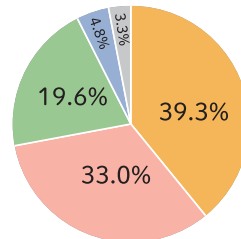
- 大きく変化した
- とても変化した
- 変化した
- 少しだけ変化した
- 変化なし



95.6%が『変化があった』と回答

Q:ELST® を友達や先輩・後輩に勧めたいと思いますか？

- とてもおすすめできる
- おすすめできる
- 少しおすすめできる
- あまりおすすめできない
- おすすめできない



91.9%が『おすすめできる』と回答

※ELST®を1年以上利用しているユーザー約300名を対象に実施

お問い合わせ

TEL: 03-4500-9125【受付時間】10:00～19:00（土日祝を除く）

URL: <https://www.sinewave.co.jp/elst>





Chrome OS、Windows、iPadの全てに対応！  
50万人の生徒が使う  
英語学習クラウドの決定版



## NEW HORIZON 準拠教材

授業の予習・復習や、授業中の個別学習などにご活用いただけます。単語、音読練習、文法などさまざまなエクササイズを通して教科書の内容理解を深めていきます。

### こんな課題はございませんか？

**生徒の意欲・能力の差が大きく、言語活動がやりにくい**

テラトークでスピーキングを練習することで、英語が苦手な生徒の自信に繋がります。

読んで終わりの音読ではなく、発音やイントネーションの添削を自社開発のAIで提供。ゲーム感覚でぐんぐん「話す力」を伸ばします。

**個別最適のためのドリルと、学習指導要領に乖離がある**

英語科においては、英語を使う能力がますます重要視されます。

テラトークの準拠教材では、教科書の設計に沿って生徒の「使う」力を育みながら、個別の生徒の「復習」に着目して個別最適化を行うことで、履修主義と習得主義の融合を目指します。

**ICTによって、授業の質のバラつきが大きくなった**

テラトークの準拠教材は、最低限の教材研究で、授業で活用いただけるように設計しました。

さらに上の授業を目指す先生には、管理画面の学習履歴データの活用や、生徒の音声の聞き込み機能を提供しています。

Joyz, Inc.

ジョイズ株式会社

〒108-0073 東京都港区三田2-14-5-810

TEL: 03-6804-3190

WEB: <https://www.terratalk.rocks/>

# Educate yourself, rule your life.

Envizion, Inc.

## 公立学校向け オンライン英会話「edule (エデュル)」始動！

NEW HORIZON に準拠したオンライン英会話サービス「edule」を2022年4月中旬（予定）より提供開始します。サービス提供元である（株）エンビジョンの協業先であるALT派遣事業者とのご契約があれば、対象となる生徒様は無償で年3回分のレッスンが受講可能です。

「英語4技能対応で生徒一人ひとりのスピーキング機会を増やしたい！」とお考えの先生方に、**課外学習の一環**として本サービスのご利用をおすすめします。

NEW HORIZON English Course 1-2 に対応



NEW HORIZON English Course 1-2 で学ぶ内容に準拠した24回分/冊のスピーキング教材を提供。生徒はレッスンで使いたい教材を自由に選択可能！

外国人講師とのマンツーマンレッスン



アプリのダウンロード不要、ブラウザベースで受講可能なレッスンツールを採用。PCやタブレット等を通じて、都合の良い時間に講師とのレッスンが可能！



授業内で教科書に沿った  
4技能統合型の授業



授業外でエデュルによる  
個別アウトプット学習

詳しくは→







NEW HORIZON を  
ご利用中の先生方!!

リピートーク  
音読アプリ RepeaTalk で

手軽に教科書の音読チェックをしませんか?

Repeating Overlapping  
Shadowing Roleplay ...など

50種類以上の練習に対応!

導入実績 **300**校突破!!

AI添削

英検  
対応

NEW  
HORIZON  
対応

単語帳  
対応

オンライン  
英会話



URL : <https://form.run/@campaign>



## 教科書準拠のオンライン英会話で教室での学びを世界とつなげる

### 教室から世界につながるオンライン授業

1対1もしくは、グループで教室の中から外へと繋がる授業。自分の英語が通じることが、英語学習の良い動機付けになるという声を多くいただいております。



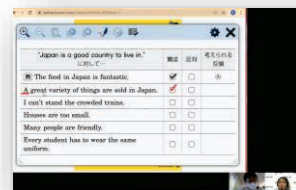
### 即興性のあるコミュニケーション



英語指導資格を持つ外国人講師が生徒のレベルに合わせて個別最適な授業を実施します。教科書の同じ箇所であっても、できる生徒には発展的な内容までチャレンジし、苦手な生徒には基礎をしっかりと身につけるための授業をご提供します。

### 教科書準拠だからこそ、教室で学んだことをすぐに実践

教科書で学習した表現を用いて、自分の言葉で会話ができます。



### 指導計画に基づく5段階評価を外国人講師が採点

授業を実際に担当した講師が評価し、翌日にはマイページからエクセルファイルでダウンロードいただくことが可能です。

ご利用いただく先生の声

松江市立宍道中学校 山内先生

今までの英語授業のイメージが大きく変わるかもしれない。そう思える素晴らしい授業です。「テストのための授業」から「様々な人と関わる力をつけるための英語授業」へと転換するチャンスだと思います。

現在導入中の学校数は約140校。公立から私立まで多くの学校現場で採用! (アクティブな利用学校数は業界No.1)

NEW HORIZON 準拠オンライン英会話 1回25分 500円(税込)

SPTR

より詳しい情報はこちら  
<https://sptr.jp/newhorizon/>



科学的にみて効果的な方法を取り入れ、ただ英語を話す体験を提供するだけでなく、「英語力を伸ばすための教育」に力点を置いたプログラムとなっています。



累計著書発売数10万部以上『外国語学習の科学』の著者  
第二言語習得論の第一人者 白井恭弘教授監修

自学自習・家庭学習の強い味方！

「NEW HORIZON English Course」

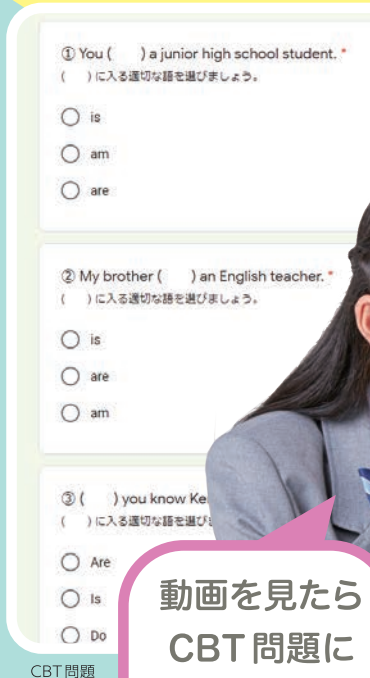
東書授業動画シリーズ

あります！



Z会・栄光ゼミナールの人気講師による教科書『NEW HORIZON』の文法のまとめの授業を聴講できます！

いつでも・どこでも  
年間 385円  
(CBT問題付き)



動画を見たら  
CBT問題に  
チャレンジ！

Grammar  
for  
Communication

授業動画

- コミュニケーションを支えるための文法
- 入試力を上げるための文法





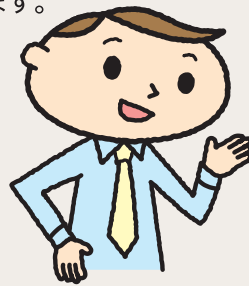
## 学校での補習授業や、家庭での自学自習に最適!

### 学校・塾の先生方へ

- 検定教科書会社と進学塾がコラボした、**基礎学力が身につく文法指導教材**です。  
1本10分程度のコンパクトな映像が魅力。
- 中間・期末試験対策、入試対策、全国学力テスト・英検直前の短期集中型学習に有効。
- 充実の東京書籍の指導書「指導者用デジタルブック」を使って、Z会・栄光ゼミナールの人気講師の授業を、生徒はいつでもどこでも、繰り返し視聴できます。
- 学校での授業は言語活動を大切にしたい!!  
文法指導を効率化できて、限られた授業時間を有効活用できます。

### 保護者の方へ

- 全解説動画にぴったりの**CBT問題がセット**。  
単に映像を見るだけでなく、**理解度チェック機能あり**。  
正答できるまで解説動画に戻って、**個別最適**に学べます。
- Z会グループ・栄光ゼミナールの塾の授業を受けられて、**CBT問題付きで年間385円(税込)**は嬉しい!!



サンプル動画はこちら

## ご購入の流れ・Lentranceストアのご紹介

<https://www.lentrance.com/store/>



Lentranceストアはこちら



ご購入の流れ

授業動画を使いたい!

利用開始!

1

会員登録(無料)

2

商品をカートに入れて  
注文手続きへ

3

Lentranceビューアーにて  
閲覧・再生いただけます

1書目(学年)  
一人あたり  
1年間  
**385円!**  
(税込・CBT問題付き)

東書授業動画シリーズは、Lentranceビューアーにて閲覧・再生いただけます。ご購入はLentranceストアから、または教科書取次店、教科書特約供給所でもご注文いただけます。

東京書籍 授業動画シリーズ [英語] 商品ラインナップ				動画数	価格(税込)
NEW HORIZON 1	Grammar for Communication	解説動画	全 10本	1人あたり1年間 385円	
NEW HORIZON 2	Grammar for Communication	解説動画	全 10本	1人あたり1年間 385円	
NEW HORIZON 3	Grammar for Communication	解説動画	全 7本	1人あたり1年間 385円	

お問い合わせ先



本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7416(英語編集部) Fax:03-5390-7300  
 支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722  
 大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084  
 ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> NEW HORIZON 英語の広場 <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/spl/eigo/>





本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7416(英語編集部) Fax:03-5390-7300  
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722  
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084  
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>